

第I部門	1. 応用力学、2. 構造工学、3. 鋼構造、4. 地震工学、5. 耐震工学、6. 風工学など
第II部門	1. 水理学・環境水理等、2. 水文学・水資源・河川工学、3. 海洋・港湾・海崖工学（「河川の水環境」「閉鎖水域環境」に関して、主な論点が化学的水質にあるものは、第VII部門の水環境に移行します。）
第III部門	1. 地盤材料・一般、2. 地盤の挙動、3. 地盤と構造物、4. 地盤防災、5. 地盤環境（主な論点が地盤工学に関するものであること）
第IV部門	1. 土木計画、2. 地域都市計画、3. 国土計画、4. 交通計画、5. 交通工学、6. 景観・デザイン、7. 土木史、8. 測量
第V部門	1. 土木材料、2. 鋪装工学、3. コンクリート工学・構造、4. 木材工学
第VI部門	1. 建設事業計画、2. 設計、3. 調達、4. 施工（技術）、5. 施工（管理）、6. 維持・管理、7. 建設マネジメント（主な論点が建設工事に関するものであること）
第VII部門	1. 環境計画、2. 環境システム、3. 用排水システム、4. 廃棄物、5. 土壤・水環境（魚類を除く生物学的・化学的な動態解析と環境改善技術）、6. 大気環境・騒音振動

※所属先は平成28年3月31日時点を記載しています。